

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	目白ちとせ保育園
施設所在地	豊島区高田3-36-11
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ> 自然

<テーマの設定理由>

夏にプランターでオクラを育てたことをきっかけに、栽培に興味がある様子がみられたため、水耕栽培をすくわくプログラムで行い、さらなる興味関心に繋がりたいと思ったから。

### 2. 活動スケジュール

- ・電子黒板や図鑑を使用して水耕栽培で育つ野菜を探し、豆苗の栽培へ発展した。
- ・豆苗が育つ様子は絵日記を書いて、変化を見返せるようにした。また、時には電子黒板を使って豆苗をズームで観察し、より芽や葉がどのように成長しているのかを見て絵日記に取り入れた。
- ・二度の収穫を体験し、お浸しやソテーにして食べる経験をした。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・準備した素材と道具：図鑑、写真、電子黒板、豆苗の苗、栽培容器、調理道具など
- ・環境設定：豆苗の栽培容器を保育室のどこに置くかは、当番の子どもたちが決めるようにした。保育室がワンフロアで仕切りがないので幼児クラスの子どもが誰でも見えるようにした。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

水耕栽培で育てる野菜を決める→豆苗栽培を通して成長の観察→絵日記→収穫→クッキング（おひたし）→栽培→収穫→クッキング（ソテー）→一連の過程をドキュメンテーションとインスタグラムを使用して保護者へ共有した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・1回目の収穫の後「このまま育てたい」「育つのかな？」という声が子どもたちから聞こえたため、水耕栽培を続けた。
- ・育てる過程では、日当たりの良い場所に置いた方が育ちがいいことに子どもたちが自ら気づく様子があった。
- ・再び豆苗が成長し、再度収穫できた際には、クラスの子ども同士で喜びを分かち合う様子がみられた。

<写真>



### 5. 振り返り

・できるだけ主体的にすすめられるよう見守ったことで豆苗が育ちやすい環境や何度か収穫できることに子どもが気づくことができたことは、予想していなかったので、子どもの考える力に改めて感心した。また、子どもが自分で育てた野菜を調理し食べる経験は、子どもから何度も「楽しかった」という声を聞くことができ、楽しい思い出として心に残ったようで取り組んで良かったと感じた。